

8 大北地域

<地域の環境特性>

- ・ 雄大な北アルプス、豊かな水をたたえる仁科三湖、姫川や高瀬川の清流、山麓に連なる森林など、豊かな自然に恵まれています。気候は全般に冷涼で、南部は少雨の内陸性気候、北部は全国有数の豪雪地帯です。
- ・ 北アルプスの一部は中部山岳国立公園に、小谷村の北東部は上信越高原国立公園に属し、姫川源流(白馬村)、唐花見湿原(大町市)、角間池(小谷村)の3か所が県自然環境保全地域に指定されています。
- ・ 高山植物の種類が豊富で固有種、希少種も多い「白馬連山高山植物帯」を擁しています。また、特別天然記念物の「ライチョウ」や、白馬村固有の種である「ハクバサンショウウオ」など貴重な動物が生息しています。
- ・ 郷土環境保全地域に指定されている国宝仁科神明宮をはじめ、有形無形の多様な文化財が受け継がれています。
- ・ 山岳、田園、湖などが織り成す美しい景観を保全するため、国道147号・148号沿道を中心とした区域が景観育成重点地域に指定されています。
- ・ 平成21年春に開園予定の国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)は、訪れる人のやすらぎの場になるとともに、自然や風土などの学習拠点としての機能も期待されています。



水辺での環境学習 木流川(白馬村)

木崎湖(大町市)

<施策の展開>

(1) 北アルプス山麓の自然や風土が育む豊かな環境の保全

- ・ 北アルプスを中心とした中部山岳国立公園や仁科三湖などの恵まれた自然や、農山村や里山などの暮らしの中で育まれた身近な環境の保全に努めます。
- ・ ニホンジカ等の野生鳥獣の高山帯への侵出など、北アルプスにおけるライチョウの生息環境の悪化が懸念されており、調査や植生復元など保護回復のための取組を進めます。
- ・ 長野オリンピック・パラリンピック会場となった競技施設やその周辺の環境に関する現況を調査し、今後の自然環境の保全対策などに活用します。
- ・ 自然保護レンジャー・自然観察インストラクターの活動や、市立大町山岳博物館等の学習拠点と連携した講座の開設などを通じて、自然環境保全に関する啓発を進めます。

(2) 自然の恵みを生かし自然と共生する里づくり

- 豊かな自然や優れた景観などを保全するとともに積極的に情報発信し、国内外から多くの旅行者が訪れる、体験型・滞在型観光の取組を進めます。
- 優れた農畜産物等を認証する「北アルプス山麓ブランド」の展開や体験型農業の推進など、地域の特性を生かした先導的な取組により、農林業振興や都市・農山村交流を進めます。
- 森林による水源のかん養、二酸化炭素吸収源、保健休養などの機能が十分に発揮できるよう、適正な間伐と森林の有効活用を進めます。
- ニホンザルやツキノワグマ等の野生鳥獣による被害を防ぐため、防護柵の設置や農地周辺の刈り払いなどの対策を進めます。

(3) 澄んだ水と空気の保全と良好な生活環境づくり

- 下水道の普及や浄化槽の適正な管理により生活排水の適正処理を進めるとともに、水質や大気の監視を行い、生活環境の保全に努めます。
- 仁科三湖や身近な河川での水辺観察会や美化活動等を通じて、水環境保全に対する啓発や美しい水辺空間の保全に努めます。
- レジ袋削減のためのマイバッグの普及やエコドライブの啓発、適切な森林整備の推進など、地球温暖化防止の取組を進めます。
- 地域が一体となり、ごみの減量化やリサイクルを促進するとともに、廃棄物に関する監視指導を徹底し、不適正処理や不法投棄の防止に努めます。



八方尾根の植生回復をめざす取組
(自然素材のマットを敷き、高山植物の植生を促進)



池田ふるさと祭でのリユース食器の活用
(再利用できるカップを使ってごみを減量)



身近な環境を美しく保つ地域活動 (中学生が取り組む河川・道路の清掃)